

令和8年度第1弾！

～ICTアドバイザー講師による～

ICT施工「Webセミナー」

i-ConstructionにおけるICT施工の各分野のエキスパートであるICTアドバイザーを講師に招き、ICT施工に関する技術や機械のほか、BIM/CIMに関する取組、さらにi-Construction2.0、ICT施工stageⅡに関する新しい取組など、幅広い内容を映像などを用いて紹介いたします。ICT施工に興味をお持ちの方の参加をお待ちしております。

講 師

(発表順)

潮田建設株式会社	コマツカスタマーサポート株式会社	レフィクシア株式会社
国土開発工業株式会社	中原建設株式会社	日本キャタピラー合同会社
株式会社イマギイレ	金杉建設株式会社	大成ロテック株式会社
日本道路株式会社		

開催・申込方法

募集対象：どなたでも参加いただけます。

日 程：令和 8年 7月14日(火) ～ 7月16日(木)

(詳細は別紙プログラムを参照してください)

開催方式：Microsoft TeamsによるWeb配信(定員なし)

申込方法：関東地方整備局のホームページ(下記URL)に掲載の申込みフォームに必要事項を入力してお申込ください。

U R L : https://www.ktr.mlit.go.jp/dx_icon/iconst_00013.html

申込期間：令和 8年 6月17日(水) 14:00 ～ 令和 8年 7月 7日(火) 17:00まで

参加費用：無料

その他：本セミナーは、CPD/CPDSの認定プログラムではありません。

主催者：国土交通省 関東地方整備局

問合せ先

事務局：関東地方整備局 企画部 施工企画課 技術評価係

TEL 048-600-1347

令和8年度 第1回「ICT施工Webセミナー」プログラム

開催方法: Microsoft Teamsによるオンライン開催

■【1日目】 令和8年7月14日(火)

時 間	題 名	講 師
13:00～	Microsoft Teamsの接続開始	
1 13:10～13:30	国土交通省のICT施策、関東地整の取組	関東地方整備局
13:30～13:40	【休憩】	
2 13:40～14:30	今だからこそ「初めてのICT」ハードルは高くない！	潮田建設株式会社
14:30～14:40	【休憩】	
3 14:40～15:20	ICT施工stage2の取組について	コマツカスタマーサポート株式会社
15:20～15:30	【休憩】	
4 15:30～16:10	スマホ1台で測量・3D点群スキャン・AR投影できる【LRTK】で実現するICT施工	レフィクシア株式会社

■【2日目】 令和8年7月15日(水)

時 間	題 名	講 師
13:00～	Microsoft Teamsの接続開始	
1 13:10～13:50	現場とオフィスをICT業務で繋ぐ	国土開発工業株式会社
13:50～14:00	【休憩】	
2 14:00～14:40	ICT活用工事の実務を”ゼロから”解説	中原建設株式会社
14:40～14:50	【休憩】	
3 14:50～15:30	小規模現場でのICT 施工 StageⅡ・i-Construction2.0活用	日本キャタピラー合同会社
15:30～15:40	【休憩】	
4 15:40～16:10	ICT建機(マシンガイダンス)の紹介	株式会社イマギレ

■【3日目】 令和8年7月16日(木)

時 間	題 名	講 師
13:00～	Microsoft Teamsの接続開始	
1 13:10～14:00	金杉建設のICT事情2026	金杉建設株式会社
14:00～14:10	【休憩】	
2 14:10～14:40	3次元設計データの活用(測量機器)	大成ロテック株式会社
14:40～14:50	【休憩】	
3 14:50～16:20	ICT舗装・ICT舗装修繕の紹介	日本道路株式会社

(注)プログラムの内容は変更になる場合がございます。ご了承下さいますよう、お願い申し上げます。

I C T 施 工 W e b セ ミ ナ ー 講 演 概 要

日 付	■【 1 日 目 】 令和8年7月14日 (火)	
時 間	13:40 ～ 14:30	14:40 ～ 15:20
題 名	今だからこそ「初めてのICT」ハードルは高くない！	ICT施工stage2の取組について
内 容	1.これからICTに取り組もうという会社様方へのメッセージ ・やってみれば簡単！5つのプロセスと上手に付き合おう。 内製化が良い？外注が良い？決まりはありません。 2.一歩進んだICT ICT施工StageⅡにチャレンジしてみよう ・実はICT施工以上にハードルは低いんです。 ICT施工ができてしまえば、その先に一歩踏み込むだけで次のステージへの道が開けてきます。 3.BIM／CIMって難しいんですよ？そんなことはありません！ ・令和5年度から義務化となった土木CIMの活用 実は取り組んでいる会社さんが少ないのが現状です。 簡単なことから初めてステップアップ・スキルアップへ。 今がチャンスです！	国交省が進めているICT施工Stage2について、施工計画の最適化やデータ活用による現場改善の考え方と具体的な活用方法について、初心者の方にも分かりやすく説明いたします。 ①ICT施工stage2取組事例 ②ICT施工stage2に対応した弊社ソリューションのご紹介
講 師	潮田建設株式会社	コマツカスタマーサポート株式会社
会社概要	当社は、栃木県に本社を置く総合建設会社であり、土木事業・建築事業(住宅含む)等、多岐に渡り施工を行っています。	建設機械およびフォークリフトの販売・サービス・レンタルを主な事業としております。全国に222拠点、従業員約4300名で日本の“現場”を支えています。
ICT施工取組	情報化施工自体より、ICTへの取組を行っています。 大規模な会社と比較し、直轄工事受注本数は少ないものの、その全てにおいてICT施工を実施しています。	弊社はモノ(建設機械の自動化・高度化)とコト(施工オペレーションの最適化)で施工のデジタルトランスフォーメーションを実現し、安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場をお客様と共に創造するため、スマートコンストラクションをあらゆる施工現場に提供しております。
時 間	15:30 ～ 16:10	
題 名	スマホ1台で測量・3D点群スキャン・AR投影できる【LRTK】で実現するICT施工	
内 容	○当社のLRTKを用いたICT施工の例をご紹介します。 ○LRTKについてのご紹介 cm精度高精度測位 従来の課題 LRTKの特徴 ○LRTKの機能のご紹介 1. 3D点群スキャン グローバル座標付き高精度点群を取得 2. 3D計測 スマホだけで3D計測が完了 3. AR 位置合わせ不要ずれしない3Dモデル投影 4. 測位写真 現調写真を位置と方位付きでクラウドで簡単表示 5. 座標ナビ 簡単に杭打ちの座標まで案内 6. 座標点検 時系列で点検写真を表示 7. 被写体測位 遠く離れた点もその場で簡単測位 8. ヒートマップ 土量ヒートマップを簡単に作成、AR表示 9. DWG図面の重ね合せ DWGや土地境界を重ね合せ 10. 屋内測位 GPS電波が届かない箇所も簡単測位 11. ロギング 移動の軌跡をcm精度で継続測位 ○ユーザー様の実際の活用例のご紹介 森林での測位 埋設管の座標つきスキャンも 橋梁の裏面まで一発スキャン 道路の模様も周りの構造物も一発スキャン 護岸工事で出来形管理	
講 師	レフィクシア株式会社	
会社概要	東京工業大学(現:東京科学大学)の助教が7年前に設立。センサや電気回路が専門で、ハードウェアの技術コアに世にないものを自ら作り出す。現場に便利を届けるべく高精度GPS端末LRTKと測位DXシステムを提供。	
ICT施工取組	高精度GPS端末「LRTK」はスマートフォンやタブレットに装着するだけで、cm精度測位から3D点群スキャン、位置ずれしないARや座標誘導など、多彩な機能を1台で完結。位置・方位を高精度記録し、クラウド管理・共有。幅広い分野で活用でき現場の作業効率化に貢献する次世代測位デバイス「LRTK」。 今回は、LRTKによる作業効率化の実際の事例をご紹介します。	

※セミナー講演の題名・内容は変更になる場合がございます。ご了承下さいますよう、お願い申し上げます。

I C T 施 工 W e b セ ミ ナ ー 講 演 概 要

日 付	■【2日目】 令和8年7月15日(水)	
時 間	13:10 ～ 13:50	14:00 ～ 14:40
題 名	現場とオフィスでICT業務で繋ぐ	ICT活用工事の実務を“ゼロから”解説
内 容	▶クラウドサービスによる複数現場を同時に遠隔管理可能であり、自動で解析を行うため若手技術者でもベテラン技術者と同等の働きが期待でき、ICT担当技術者の負担軽減可能なシステムの説明。 ▶ICTスキルを取り込んだ遠隔体制やグローバル化を見据えたウォークスルーOJTシステム、これまでのICT施工トラブル事例についての説明。 ・当社の施工概要をパワーポイントを用いて説明 ・SiteOrchestrationによる複数現場同時管理 ・ICTスキルによる建設ディレクター～現場とオフィスをICT業務で繋ぐ～	ICT活用工事の実務を“ゼロから”解説 ICT活用工事を初めて受注した際、「何から手をつければいいのか分からない」と戸惑う現場監督は少なくありません。本セミナーでは、ICT活用工事の経験がない現場監督の方を対象に、受注後の発注者との協議の進め方から、ICT施工計画書などの必要書類の作成方法、施工中の注意事項、そして完成時に提出する納品書類の作成手順まで、実務の流れを一気通貫でわかりやすく解説します。 内容 1. 参考にする要領書などの文献について 2. ICT施工全体の流れ 3. 事前協議・施工計画書 4. ICT施工について 5. ICTによる出来形管理について 6. 検査・提出書類
講 師	国土開発工業株式会社	中原建設株式会社
会社概要	弊社は、土木工事業を中心に、土砂改良工事業、自然エネルギー事業、機械製造事業を展開し、神奈川県に本拠地を置き、関東地方整備局・神奈川県・近隣地方自治体の元請工事、全国エリアでの下請け工事を行っています。	1941年創業、埼玉県川口市に本社を置く従業員110名の土木建設会社。ICT施工とBIM/CIM技術を内製化し、ほぼすべての現場で3D技術を適用した施工の効率化・高度化を実現。ICTアドバイザーとして公官庁や建設業協会、同業他社への豊富なDX研修実績を有する。
ICT施工取組	弊社は2018年より内製化を進めており、令和4年6月1日ICT推進グループを創設し、令和7年6月1日ICT推進部としてにICT人材育成を継続しています。自社所有UAVにて起工測量→解析ソフトによる点群化→点群処理ソフトによる点群処理及び土量算出と三次元設計データ作成→自社機及びリース機械による施工、出来形測量を行っています。ICT機械等保有台数は20t～49t級BH16台、9t～23t級ブルドーザー9台、転圧システム4台、スクレーパー2台、GNSSローパー6台、UAV7台です。	令和2年からICT技術の内製化に取組み、土工、小規模土工、浚渫工(河川)、地盤改良工、舗装工、舗装工(修繕工)、構造物工(橋脚・橋台)など多工種にわたりICT施工を展開。自社保有のドローンやTLS(3Dレーザースキャナー)を活用し、ほぼすべての現場で3D測量を実施。自社のDX専属スタッフが3Dモデルの作成から3Dデータ編集まで一貫対応し、内製化による迅速かつ高精度な施工を実現している。
時 間	14:50 ～ 15:30	15:40 ～ 16:10
題 名	小規模現場でのICT 施工 StageⅡ・i-Construction2.0活用	ICT建機(マシンガイダンス)の紹介
内 容	昨今注目を浴びる『ICT 施工 StageⅡ/i-Construction2.0』ですが大規模現場のための技術とのイメージがありませんか？しかし、建設現場の最適化を目指すこれらデータ活用・マネージメント技術は小規模工事でも必ず役に立つはずです。今回のセミナーでは小規模現場にも応用できる最新技術を紹介します。 主な紹介技術 ・今一度見直そう『2Dマシンガイダンス/コントロール』施工 ・現場の安全管理に活かせる『人検知/クラウド管理』 ・日々の生産性分析による『ヒストグラム管理/Co2削減』 ・小規模現場で生きるチルトローテーター/遠隔施工	○簡単な会社紹介 ○ICT建機活用のメリット ○マシンガイダンスバックホウ各種、関連アプリケーション紹介等
講 師	日本キャタピラー合同会社	株式会社 イマギイレ
会社概要	当社は建設機械の販売とレンタルを主体に全国展開(除く四国、九州)をしている会社で、ICT建機に関しては2007年よりMC対応ブルドーザを販売しており、多くのお客様のお手伝いをさせていただいております。	当社は埼玉県を本拠地に、建設機械、環境リサイクル機械、ICT機器、微細水ミスト噴霧器などの幅広い商品を経済合理性のある「レンタル」というサービスでご提供し、地域社会に貢献していく企業です。
ICT施工取組	ICT建機の販売や修理、レンタルを通じ、現場施工のみならずGNSSローライゼーションや設計データ変換、ICT建機固有のメンテナンス等、ICT建機の活用現場をトータルでサポートさせていただいております。また、今後活用の拡大が予想される小規模土工への対応や最新のAR技術、さらには建設DXの要である遠隔操作技術等にも積極的に取り組んでおり、ICT施工の更なる発展のお役に立てるよう取り組んでいます。	2010年からICT機器のレンタルを開始し、関東地方整備局や埼玉県発注のi-Con現場にICT建機を貸出しさせていただいております。3次元測量や3次元設計データ作成も承っており、現場の始まりから完工まで一貫したサポート体制を取っております。またICT体験会・講習会でのご説明や実演サポートもさせていただきます。近年は民間建築や小規模施工現場におけるICT施工にも数多く対応させていただいております。

※セミナー講演の題名・内容は変更になる場合がございます。ご了承下さいますよう、お願い申し上げます。

I C T 施 工 W e b セ ミ ナ ー 講 演 概 要

日 付	■【3日目】 令和8年7月16日(木)	
時 間	13:10 ~ 14:00	14:10 ~ 14:40
題 名	金杉建設のICT事情2026	3次元設計データの活用(測量機器)
内 容	金杉建設のICT施工事例をご紹介します。 ・ICT施工データの活用 ICT施工に必要な3次元測量・3次元設計データの作成方法や留意点・活用方法について実際の現場データをもとにご紹介 ・BIM/CIMモデルの活用 BIM/CIMモデルの作成方法・作成時の留意点・3Dモデルの活用方法について実際の現場データをもとにご紹介	ICT施工における3次元設計データの使用方法は、MC重機の制御や出来形評価など多岐に亘っている。その中でも実作業に関する部分として測量機器への活用方に着目した。 ① 3次元設計データとは ・TINデータに関する簡単な説明 ② 3次元設計データの主な活用方法 ・MC重機、設計照査など ③ 3次元設計データの活用例(測量機器) ・現場で作業する際に着目して、測量機器での活用方法を説明 ・実現場での使用事例のある機器を紹介
講 師	金杉建設株式会社	大成ロテック株式会社
会社概要	埼玉県にて公共工事を主体とした土木建設業の施工管理及び施工を事業としている。	道路舗装のエキスパートとして、高速道路や一般道路、空港・港湾、街路などの社会基盤整備をはじめ、グラウンド・スポーツ施設・レース場のほか、建築工事や海外工事、建設用資材の製造・販売など事業分野は多岐に亘っています。
ICT施工取組	ICT活用工事において、3次元起工測量、3次元設計データ作成からICT建設機械による施工、3次元出来形管理・電子納品を内製化して実施している。新しいデジタル技術、ICT技術も積極的に導入している。	全国的にICT施工に取り組んでおり、中でもICT舗装工・ICT舗装工(修繕工)に積極的に取り組んで多数の施工実績を有しています。また、BIM/CIMを活用した工事の推進も行っています。
時 間	14:50 ~ 16:20	
題 名	ICT舗装・ICT舗装修繕の紹介	
内 容	・昨年度までのICT活用工事実績紹介 昨年度までのICT活用実施件数・実施現場事例の紹介 ・ICT舗装・ICT舗装修繕実施に向けた事例紹介 ICT活用工事への挑戦の際に参考となる事例紹介(弊社ノウハウ・失敗しない為の手法など) (採用工種によっては省人化出来ないなども紹介) ・さらなる適用範囲拡大に向けた取組 ICT活用工事ではオーバーレイ・舗装工などが除外されているので、弊社での取り組みや省力化した事例の紹介 また適用拡大に向けた取組の紹介	
講 師	日本道路株式会社	
会社概要	当社は、主に道路建設業を主体とし、全国に支店・営業所を置いて建設業を営む企業です。	
ICT施工取組	ICTには情報化施工の初期から積極的に技術開発や社員教育を実施しており、ICT施工への移行についても全国各支店に選任のICT担当者を配置して取組んでおります。特にICT舗装修繕・ICT舗装工を活用した省力化を多く実施しています。	

※セミナー講演の題名・内容は変更になる場合がございます。ご了承下さいますよう、お願い申し上げます。